

## オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2005年7月19日

### 2005年7月17日現在の概況：

7月17日に終わる週の気象は前週より高温であり乾燥した気象であった。

Willamette 盆地での最高気温は 91~97 度 F となり、平均気温は平年を 2~7 度 F 上回った。NC 地区でも平均気温は平年を 1~7 度 F 上回り、最高気温は 88 (Pendleton) ~102 度 F (Hermiston) であった。Willamette 盆地並びに NC 地区では降雨は記録されなかった。土壌水分は前週と比較し更に減少した。1 週間の州平均農作業稼働日数は 6.9 日 (前週：5.7 日) であった。好天が続く Willamette 盆地の冬小麦は急速に完熟し一部で収穫が開始された。単位収量の報告は無かった。NC 地区の Sherman 郡の小麦の収穫は最盛期に入った。冬小麦の単位収量は良好と報告された。同地区の全郡にて小麦の収穫が進んだ。

冬小麦の 21%、春小麦は 1% が収穫された。冬小麦の収穫の進捗は昨年並びに 5 年平均より 1 週間以上早い。

冬小麦の作柄は “Excellent” が増えたが全体として前週より評価がおちた。春小麦の作柄評価は高温・乾燥が続く更に落ちた。

7月1日付け USDA 発表の冬小麦の生産予想では、単位収量は 6月1日付け発表の 58.0 bushels/acre より 3 bu/ac 多い昨年実績と同じ 61.0 bu/ac となった。春小麦の生産量では、単位収量は昨年実績より良く 57.0 bu/ac (昨年：48.0 bu/ac) であった。6月からの降雨により土壌水分が改善された事、急激な温度上昇が無かったことがプラス要因となった。詳細は別表の通り。

### 土壌水分：7月17日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	15	28	56	1
Subsoil (%)	14	32	54	0

### 小麦生育状況：7月17日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Spring wheat Harvested (%)	1	1	4	1
Winter wheat Harvested (%)	21	7	10	14

### 小麦の作柄状況：7月17日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat					
This week (%)	1	11	30	34	24
Last week (%)	1	11	24	44	20

Spring Wheat					
This Week (%)	15	23	25	35	2
Last Week (%)	15	22	23	36	4

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

7月1日付け USDA 発表冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 Acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 Bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
June 1				July 1			
OR	780	840	61.0	58.0	61.0	47,580	51,240
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

7月1日付け USDA 春小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
June 1				July 1			
OR	175	125	48.0	-	57.0	8,400	7,125
State	13,174	13,637	43.2	-	43.2	568,918	588,740

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>